

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No. 48

2016年4月発行

女性と防災・減災セミナー開催

日時：2016年2月18日（木）10：30～12：00

会場：地域生活サポートネットほうぶ

講師：大槻由美さん(NPO法人とれじゃーBOX理事長)

参加者：地域住民の方々 17名

共催：清水二西町会

協力：大阪市男女いきいき財団 クレオ大阪東

平成27年度大阪市男女共同参画「地域出前セミナー」事業

熊本地震が起こりました。また、大きな震災です。被災地の方々の暮らしを思い、地震のニュースに胸が痛くなります。長く続く余震に、一人でもご無事にと願うばかりです。‘ほうぶ’では、2月に防災に関するセミナーを開催したところでした。

旭区清水に事務所を移転して初めて、地域の方々を対象にしたイベント開催です。クレオ大阪東の担当者の方から、出前セミナーのご紹介をしていただいたことがきっかけでした。町会長さんにご相談し、町会の共催をしていただきました。当日は、町会の方々や女性会の方々が来てくださいました。

講師のお話から、日々の暮らしの中で、防災に向けて準備していくことの大切さを知りました。講演後、茶話会をして意見交換をしました。地域の方々にご参加いただき、新たな出会いもあり、当施設を知っていただく機会にもなりました。講師のお話にあった「地域とつながり地域で協力者を増やす」「まちの方々がお互い知っていれば助けあいにつながる」、本当にそう思います。とても温かな雰囲気です。セミナーを行うことができました。参加者の方々も、わかりやすく良かった、役立ったと感想を寄せてくださいました。

当施設の防災に対する取り組みの一步にもなったと思います。どのように防災・減災に取り組んでいけばよいかを考え実践していきたいと思いました。今後も地域に密着して活動していきたいです。



イチゴがり と こんぺいとう作り

日 時：2016年3月29日（火）10：00～17：00

行程：ほうぶ ⇒ こんぺいとうミュージアム(八尾) ⇒ いずみり川いちご農園 ⇒ ほうぶ

参加者：障害をもつ子ども ときょうだい 13名、学生ボランティア 12名

昨年10月に初めてのバスツアーをして収穫体験をしました。その時の帰りのバスで、子どもたちが「次はイチゴがりに行きたい～！」と言っていました。その言葉を受け、イチゴがりに行く大決断をしました。イチゴがりは短時間なので、同時に日頃できない体験をしようと、こんぺいとうミュージアムにも行きこんぺいとう作りも体験しました。

バスの中では、クイズを出し合ったりして楽しく交流をしました。こんぺいとうミュージアムでは、こんぺいとうの歴史をビデオで見て、こんぺいとうに色と味をつける体験をしました。いろんな種類のこんぺいとうを味見させてもらいました。イチゴがりは、車いすの子どもでも体験できる高さのイチゴ農園でした。

気持ちの良いお天気の中、楽しい一日を過ごしました。



<子どもの感想から>

- ・ こんぺいとうを作りました。色は水色で、味はオレンジでした。おいしかったです。次にイチゴがりに行きました。めちゃくちゃぱりうま～でした。とてもくるしくなりました。また食べたいです。
- ・ 今日のはこんぺいとうミュージアムに行きました。こんぺいとうの色づけとあじつけをしました。そのこんぺいとうをししょくしました。そのあと、イチゴがりに行きました。いちごを20こぐらい食べました。楽しかったです。
- ・ イチゴがりの時、むしが出てきて、Mさんがとってもこわがっていました。いちごを食べてバスで帰ったから、少しきもちわるかったです。A(学生ボラ)さんとポケモンの話をして楽しかったです。



お花見に行こう！

日 時：2016年3月31日（木）10：30～16：30

行き先：鶴見緑地公園

参加者：障害をもつ子ども 9名、学生ボランティア 8名

助 成：大阪市旭区社会福祉協議会 児童育成事業等助成

歩いて鶴見緑地公園へお花見に行きました。当日は暑いくらいのお天気でした。途中のスーパーでお弁当を買いました。早くお弁当が食べたくて、みんな頑張って歩きました。桜は五分咲きでしたが、桜の下は、お花見客でいっぱいでした。芝生の広場の木陰でお弁



当を食べ、子どもたちはボランティアのお兄さんやお姉さんたちと一緒に、ボール遊びやおにごっこなどをして、元気に遊びました。その後、公園を回って桜やチューリップなどの花々を見て歩きました。しっかり身体を動かして、友だちやお兄さんお姉さんと一緒に楽しく遊んだ一日でした。



放課後等デイサービス「楽童ほうぷ」報告

1月には、七草粥やぜんざいを作ったり、凧を作って河川敷に行き、凧揚げをしたり、ご近所の女性の方々に昔遊びを教えていただいたりしました。また、Buono2633さんによる音楽会を楽しみました。2月には、豆まきをしたり、ご近所の方々に手伝っていただいて巻きずしを作ったり、中学生と保護者を対象に卒後の進路についての勉強会をしたりしました。また、中学1年生男子の個人将来計画ワークショップも開催しました。3月には中学卒業の女子生徒2名と京都に卒業遠足に行きました。3月4月は、下校が早い日が多く春休みもあったので、よく近くの公園に遊びに行きました。桜の木が美しく、この春は、毎日がお花見でした。土曜日や長期休み中には、日直係の2人が、その日のスケジュールを立てたり、活動の中心になってみんなに声かけをして行動したりする取り組みを始め、順番に、予定を立てたり変更したりリーダーシップを取ったりしています。

昨年度は、「衣」の自立生活プログラムに加え、ボランティアの学生さんたちに協力してもらい、男子は銭湯に何度か行き、清潔を学ぶ場を作りました。クッキングを繰り返して、卵の割り方や包丁の使い方が上手になってきました。ほうぷにはさまざまな障害をもつ子どもが来ていますが、バギーにのっているKくんが来る日は、みんなで絵本の読み聞かせをします。読み聞かせをする子どもたちは、「聞いてもらおう」という気持ちで読めるようになってきました。プリント(学習)の時間は、ほとんどの子どもが自分からテーブルに着くようになりました。一年前に比べ、子どもたちが落ち着いてきたと感じます。積み重ねの大切さを感じます。活動内容の充実だけではなく、設備面も整備しました。昨年春には、年賀寄附金配分事業で雨漏りとトイレの改修をしました。冬には防寒と防災のためにレースのカーテンを付けました。今年に入って、洗面所の床の修繕をもらい、洗濯機を設置しました。また、前の庭に雨よけ屋根をつけてもらい、自転車を置いたり洗濯物を干したりできるようになりました。ホームページに活動のようすも掲載しました。

4月には新しい職員が増え、管理者兼児童発達支援管理責任者1名、児童指導員2名、保育士1名という体制で運営しています。5月からは月曜から土曜日に開所します。

ほうぷの庭では、2月に紅梅が咲きメジロがやって来ました。春が来て、鉢植えのチューリップが咲き、今は、つつじ、ランタナ、君子蘭やシンビジウムなどが美しく咲いています。紫陽花の木もつぼみを付け始めました。季節を感じる日々です。今年は、子どもたちと菜園で何を育てましょうか。

震災が起き、改めて、人と人のつながりの大切さを思います。2004年に「出会い、つながり、夢を語ろう」と出発した法人設立時のことを思い起こし、今年度も、また、がんばります。

